

報道関係者 各位

2020年2月6日  
公益財団法人日本デザイン振興会

## 2019年度 東京ビジネスデザインアワード 最優秀賞・優秀賞を発表

—最優秀賞は、「新規培養技術による『酒づくりイノベーション』」—

東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会(会長:川上元美 所在地:東京都港区)が企画・運営をおこなう東京ビジネスデザインアワードは、東京都内の中小企業の技術や素材等をテーマに、新規用途開発とビジネス全体のデザイン提案を募るコンペティションです。2019年度は、中小企業から示されたテーマに対し、初年度以来2番目に多い全161件の提案が寄せられ、9件のテーマ賞が選出されました。去る2月5日(水)に東京ミッドタウンで開催した提案最終審査において、テーマ賞を獲得した9組のデザイナーによる公開プレゼンテーションと審査を実施しました。

最優秀賞には清水覚(プランナー/ヤフー株式会社)、清水大輔(デザイナー/SHIMIZUDESIGN)の「新規培養技術による『酒づくりイノベーション』」、優秀賞には柳沢祐治(デザイナー/YUJI YANAGISAWA DESIGN)の「『段ボール加工技術』から生み出す明かりの防災プロダクト」、清水覚(プランナー/ヤフー株式会社)の「ものづくりをアップデートする新サービスの提案」がそれぞれ選ばれました。

これら3件を含めたテーマ賞の各デザイン提案については、テーマ企業とデザイナーの間で提案の事業化・製品化に向けた検討が始まっています。今後の展開をご注目ください。

### 「2019年度 東京ビジネスデザインアワード 最終審査結果」

#### ●最優秀賞(1件) [賞金 100 万円] (提案者/企業 各50万円)

提案名:新規培養技術による『酒づくりイノベーション』

提案者:清水覚(プランナー)/ヤフー株式会社、清水大輔(デザイナー)/SHIMIZUDESIGN

テーマ:生きた細胞をものづくりの材料に変える「細胞ファイバ技術」

内容:細胞ファイバの特性を生かした、新しい発酵飲料の提案。

企業:株式会社セルフファイバ(文京区)



#### ●優秀賞(2件) [賞金 各 20 万円] (提案者/企業 各10万円)

提案名:「段ボール加工技術」から生み出す明かりの防災プロダクト

提案者:柳沢祐治(デザイナー)/YUJI YANAGISAWA DESIGN

テーマ:アイデアに富んだ製品を実現する「段ボール加工技術」

内容:災害時の不安を減少させる段ボールを使った非常用照明の提案。

企業:有限会社坪川製箱所(葛飾区)



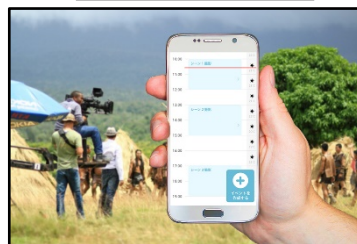
提案名:ものづくりをアップデートする新サービスの提案

提案者:清水覚(プランナー)

テーマ:運営者と参加者をリアルタイムに繋ぐ「イベントサポートシステム」

内容:制作現場向けに進行を効率化するウェブ上でのサポートシステムの提案。

企業:株式会社アーク情報システム(千代田区)



※東京ビジネスデザインアワードのウェブサイトにて詳細情報を掲載しております。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

※本リリース掲載のロゴ、ビジュアルデータをご用意しております。下記、報道関係者お問い合わせ先までご連絡ください。

本件への報道関係者のお問い合わせ先:株式会社オズマピーアール

担当:酒井、角田、新井、鈴木 E-mail:jdp@ozma.co.jp Tel:03-4531-0214

一般からのお問い合わせ先:東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会)

担当:桜井、塚田 E-mail:tokyo-design@jidp.or.jp Tel:03-6743-3777

## ●東京ビジネスデザインアワード審査委員長 廣田尚子 提案最終審査総評

今回8回目を迎えた東京ビジネスデザインアワードにおいては、審査委員一同、年々提案のレベルが上がってきていると感じていましたが、今回はそれを更に上回り、過去最高にレベルの高い提案が集まった素晴らしいものとなりました。9組すべての提案が上位の賞を受賞するに値するもので、審査委員も正直なところ選ぶのに苦慮したほどでした。

最優秀賞の「新規培養技術による『酒づくりイノベーション』」は、受賞企業の持つ技術のイノベティブな部分を、デザインを通じ、さらに上のレベルに昇華させたことが大きな評価となりました。デザインには、「人の心を幸せにする、豊かにする、生活が変わる」という力があります。本来、人と分離して存在していた技術は、デザインにより「人の心や生活にフィットし」そこから「イノベティブの価値」は花開くのではないかと思います。今回の提案は受賞企業の技術を花開かせるような、奇想天外なアイデアであると思われました。優秀賞の「『段ボール加工技術』から生み出す明かりの防災プロダクト」では、企業の持つ理念と社会的な課題解決というテーマを高レベルのアウトプットに繋げた点に加え、「被災者の心を和らげる」というデザインならではの役目を表現した点が素晴らしいと感じました。もう一つの優秀賞の「ものづくりをアップデートする新サービスの提案」は、アプリケーションという新しいジャンルが新鮮であり、想定ユーザーもパソコンが得意ではなくスマホが得意な方などを含めて考えられ、見えない市場に対するポテンシャルも感じられました。

2018年に経済産業省・特許庁により「デザイン経営」宣言が出されましたが、2012年から行っている東京ビジネスデザインアワードで実践してきたのは、まさにその考え方そのものです。本アワードを通じて、中小企業にもデザイン経営が入ってきており、そこでデザイナーは単なるモノのデザインに留まらず、企業活動のより根幹の部分、例えば経営や収益体制を変えるといった一段上の価値あるデザインを行っているという点を今後も伝えていきたいと思っています。

## ●2019年度東京ビジネスデザインアワード審査委員会

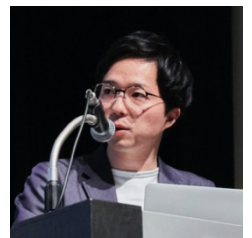
廣田尚子 審査委員長/(有)ヒロタデザインスタジオ マネージングディレクター  
金谷勉 (有)セメントプロデュースデザイン 代表取締役  
川田誠一 産業技術大学院大学学長 工学博士  
澤田且成 アイディーテンジャパン(株)代表取締役社長  
日高一樹 デザイン・知的財産権戦略コンサルタント 日高国際特許事務所 所長 弁理士  
南馬越一義 (株)ビームスビームス創造研究所 シニアクリエイティブディレクター



## ●最優秀賞「新規培養技術による『酒づくりイノベーション』」

### プランナー 清水覚氏の受賞コメント

セルフファイバは、東京大学発のスタートアップ企業で、生きた細胞をまるで糸のように扱える「細胞ファイバ」というテクノロジーを持っています。今回、「発酵」に着目し、「ゲルチューブに酵母を封入し好きな飲み物に入れることで手軽に発酵させる」という全く新しい飲料づくりビジネスを提案しました。細胞はその見た目から「食」とは結び付きにくいイメージがありますが、第三者へのヒアリングを綿密に行い、技術を含め一般の人々が受け入れられやすい形をデザインすることを意識しました。東大から世界に向けて飲料を通じ健やかで楽しい生活を提供すべく、実現化に向けて動いてまいります。



## ●優秀賞「『段ボール加工技術』から生み出す明かりの防災プロダクト」

### デザイナー 柳沢祐治氏の受賞コメント

昨年の台風で被災し避難所で過ごした自身の経験から、懐中電灯を差し込むだけでランプに変えることができる非常時用の段ボール防災プロダクトを提案しました。坪川製箱所は、被災時に使用できる段ボール箱まくらなど開発しており、その想いに共感しました。被災時のストレスを少しでも和らげたいという想いをデザインに込めています。



## ●優秀賞「ものづくりをアップデートする新サービスの提案」

### プランナー 清水覚氏の受賞コメント

TBDAにおいて「システム」というテーマは珍しいものでしたが「技術に紐づいた新規性のあるビジネスモデル」という面を評価していただいたことを嬉しく思います。30年以上、受託業務を真面目に取り組んできたアーキ情報システムにはいぶし銀のような卓越した技術があり、それを魅力的なサービスに昇華すべく一丸となって進めていきます。



## 《テーマ賞ならびにクリエイター一覧》

最優秀賞

テーマ 1: 生きた細胞をものづくりの材料に変える「細胞ファイバ技術」 株式会社セルファイバ(文京区)

### 新規培養技術による『酒づくりイノベーション』

細胞ファイバの特性を生かした、新しい発酵飲料の提案。

清水覚(プランナー)[ヤフー株式会社]、清水大輔(デザイナー)[SHIMIZUDESIGN]



テーマ 2: 世界最高レベルの「極細シリコン輪ゴム製造技術」 有限会社精工パッキング(葛飾区)

### 「極細シリコン輪ゴム製造技術」で香りをもっと自由に楽しめるプロダクトの提案

極細シリコンゴムを使った、身につけて楽しめるフレグランスの提案。

谷川亮太(プロデューサー)[イロ]、干場邦一(アートディレクター)[カチ/イロ]、笠原まみ(デザイナー)[カチ]



テーマ 3: 時間・空間・自由を生む「不動産ソリューションシステム」 押入れ産業株式会社(港区)

### レンタル収納の運営ノウハウを応用させた、展示空間の提案

ハンドメイド作家の作品を収納しながら人に見せることのできる空間利用方法の提案。

深澤侑悟(インテリアデザイナー)[設計事務所アイオイ]



テーマ 4: あらゆる仕様をユーザーが自由に選べる「ノート設計システム」 株式会社研恒社(千代田区)

### 「ノート設計システム」のビジネスモデルを拡張するプロダクト提案

ノート設計システムを使った様々なオリジナルノートのモデルとビジネスプランの提案。

今井裕平、林雄三、高橋良弘、鈴木香奈、鄭炫采(デザイナー)[kenma Inc.]



優秀賞

テーマ 5: アイデアに富んだ製品を実現する「段ボール加工技術」 有限会社坪川製箱所(葛飾区)

### 「段ボール加工技術」から生み出す明かりの防災プロダクト

災害時の不安を減少させる段ボールを使った非常用照明の提案。

柳沢祐治(デザイナー)[YUJI YANAGISAWA DESIGN]

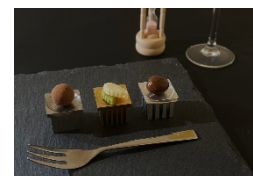


テーマ 6: 1ミクロンの精度で削り出す「金属切削加工技術」 有限会社園部製作所(江東区)

### 金属切削加工で作る新しい食体験

温度変化により、食材の味わいの違いを楽しむことのできる金属皿の提案。

松井峻輝(デザイナー)、本庄元(プランナー)[凸版印刷株式会社]、河内貴史(デザイナー)



優秀賞

テーマ 7: 運営者と参加者をリアルタイムに繋ぐ「イベントサポートシステム」 株式会社アーク情報システム(千代田区)

### ものづくりをアップデートする新サービスの提案

制作現場向けに進行を効率化するウェブ上でのサポートシステムの提案。

清水覚(プランナー)[ヤフー株式会社]



テーマ 8: 文化財レプリカ製作で培った「模型製作技術」 株式会社トリアド工房(八王子市)

### 模型製作技術を活かした家族の思い出を手元に残すサービス

家族の思い出をレプリカで再現し、手元に残すサービスの提案。

山本伸明(クリエイティブディレクター)、伊波元樹(アートディレクター)[株式会社矛盾社]



テーマ 9: 繰り返し使え、耐久性に優れた「ダンブラシート」 第一合成株式会社(八王子市)

### 素早く空間設計ができるダンブラ製オフィスツール

プラスチック段ボールの特性を生かしたオフィスツールの提案。

多湖俊一郎(プランナー)、木下豪(プランナー)、亀井敬太(デザイナー)[9FEET DESIGN]

